



2020年5月14日

各位

会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト
代表者名 代表取締役社長 武長 太郎
(コード: 9266 東証第一部)
問合せ先 取締役管理部長 高橋 広宜
(TEL. 047-302-5115)

特別損失の計上および業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第4四半期会計期間(2020年1月1日~2020年3月31日)において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、2020年2月7日に公表いたしました2020年3月期の業績予想値と本日公表の2020年3月期通期実績値について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 特別損失(減損損失)の計上

一部店舗の固定資産において、収益性の低下による減損の兆候が認められたことにより「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2020年3月期第4四半期会計期間において、減損損失154,162千円を計上いたしました。

これにより、第3四半期までに計上いたしました28,212千円と合わせ、合計182,375千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 2020年3月期通期業績予想値と実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,260	328	286	179	29.10
実績値(B)	7,991	167	129	△122	△19.82
差異(B-A)	△269	△161	△157	△301	
増減率(%)	△3.3	△49.0	△55.0	△168.1	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	7,078	289	286	122	19.84

(注) 当社は2018年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合および2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 業績予想値との差異が生じた理由

売上高につきましては、飲食既存店は概ね好調に推移しておりましたが、2月中旬より新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、飲食事業店舗の客数減に加え、ブライダル事業の結婚式および宴席の延期やキャンセルが相次ぎ予想値を下回りました。営業利益、経常利益につきましても、売上高の減少に伴い、地代家賃や人件費などの固定費が利益を押し下げる結果となり予想値を下回りました。また、「1. 特別損失(減損損失)の計上」に記載の減損損失を特別損失に計上したほか、繰延税金資産の一部取り崩しに伴い36,571千円の法人税等調整額を計上した結果、当期純損失は122,218千円と予想値を下回りました。

以上